

第6回 医療的ケア児 支援者そのための支援

参加費
無料

(事前参加申込が必要です)

公開講座

2023.
9.3 日 9:30~12:10

ハイブリッド開催 × 現地+Zoom Webinar

会場 いわて県民情報交流センター
アイーナ 会議室803

会期後一定期間のオンデマンド配信あり

お問い合わせ先 有限会社ヤマダプランニング

020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-5-5 TEL 019-635-6011 FAX 019-635-6033
E-mail registration@yamada-planning.co.jp

第6回 医療的ケア児 支援者ための支援 公開講座

のお知らせ



対象 当事者やそのご家族、一般の方、医療的ケア児とその家族の支援に携わる方(医師・歯科医師・看護師・保健師・教員・保育士・児童指導員・相談支援専門員・医療的ケア児コーディネーター・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・歯科衛生士・その他すべての関係する方々)

参加費 無料(事前参加申込が必要です)

主催 岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座

共催 岩手県医療的ケア児支援センター

申込受付 2023年7月18日(火)～8月31日(木)

申込方法 URLまたはQRコードから必要事項を記載してください。
折り返し登録完了通知をお送りいたします。
現地参加については先着120名とさせて頂きますので
あらかじめご了承ください。

参加登録URL(現地参加・Zoom参加共通) <https://onl.tw/t3g4Stm>



プログラム

9:30～9:40 開会の挨拶

亀井 淳(岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座)

9:40～10:10 講演1

「気仙地域の医療的ケア児支援(訪問診療とワーキンググループ)」

講師 大津 修(大津小児科ファミリークリニック 院長)

10:10～11:10 講演2

「こどもたちの『生まれてきてよかった』を訪問診療から支える」

講師 田中総一郎(医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長)

休憩

11:20～12:10 座談会

座談会

●亀井 淳(岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座)

●大津 修(大津小児科ファミリークリニック 院長)

●田中総一郎(医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長)

実施目的

医療的ケア児の支援において、関係する支援者同士のスムーズな協働が求められます。医療的ケア児に関わる支援者にとって、職種ごとの立場や考え方を共有し、相互に理解しあえる関係性を築くことが望まれます。今回は「小児在宅医療」を取り上げ、支援者のみならず、当事者やそのご家族、さらには一般の方々にもご参加いただきたく、公開講座としました。岩手県沿岸南部の過疎地と、政令指定都市である仙台市における訪問診療の取り組みを伺い、地域社会における小児在宅医療の構築を見直すきっかけにしたいと思います。

講師紹介

大津 修 先生

大津小児科ファミリークリニック院長

[略歴] 岩手県出身(盛岡市生まれ、大船渡市育ち)

岩手医科大学卒業・同大学院卒業

大学病院で小児循環器担当

2001年 秋田県厚生連鹿角組合総合病院
(現かづの厚生病院) 小児科医長

2004年 岩手県立釜石病院小児科長

2005年 岩手県立大船渡病院小児科長

2022年 大津小児科ファミリークリニック院長・
岩手県立大船渡病院非常勤

小児科専門医 地域総合小児医療認定医 医学博士
気仙地域医療的ケア児支援推進ワーキンググループ代表
気仙地域言葉と発達の支援ワーキンググループ代表

[座右の銘] The human spirit is more powerful than any drug
音楽好き(かつては演奏も)、阪神ファン

田中 総一郎 先生

医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長

[略歴]

奈良県生まれ

東北大学医学部卒業

その後、

山形市立病院済生館小児科

埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科

国立精神・神経センター武藏病院小児神経科

心身障害児総合医療療育センター小児科

宮城県拓桃医療療育センター地域・家族支援部長 小児科医療部長

などで勤務しました

平成24年10月～平成28年3月

東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野 准教授

平成28年4月～平成28年9月

医療法人はるたか会 あおぞら診療所新松戸

平成28年10月～現職

医療法人はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長

[専門分野] 障害児医療 小児神経学 睡眠障害 呼吸障害

[最近の著書] 「重症児者の防災ハンドブック-3.11を生きぬいた重い障がいのある子どもたち」クリエイツかもがわ、2012

医療と福祉と教育とご家族の橋渡しの役割が出来ればと思っています。